



# 図書館員が選ぶ この一冊

9

『アルジャーノンに花束を』  
ダニエル・キイス著 小尾芙佐訳 早川書房



パン屋で働く青年、チャーリー・ゴードンには幼児並みの知能しかない。そんな彼が手術で高い知能になったネズミのアルジャーノンと出会う。賢くなりたいと願うチャーリーは同じ手術を受け天才へと生まれ変わる。しかしアルジャーノンの様子が次第に変化していくことに戸惑うチャーリー。待ち受ける未来は彼を幸福にするものなのか。

本作は終始一貫して主人公の一人称で物語が進んでいく。そのため高すぎる知能をもってしまった青年の悲哀がまっすぐに響いてくる。友人や家族との過去、そして自身の心と懸命に向き合っていく彼の生き方に心を打たれる。